

# 個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	早島支援学校		所在地	都窪郡早島町早島4063番		
敷地面積	41,709.12 m <sup>2</sup>		棟数	23 棟 (計画記載対象 6 棟)		
延床面積	8,994.38 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	特別支援学校教育のため					
<b>【想定される自然災害】</b>						
予想震度 <u>6弱</u> <u>津波</u> - <u>浸水</u> -						
建築規制	市街化区域、第一種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2016年度)	電気 290,608 kwh	ガス 1,956 m <sup>3</sup>	水道 5,485 m <sup>3</sup>	燃料 (灯油・A重油)	灯油:10,065 A重油:12,000	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし                      敷地内貸付地 なし 早島町避難所協定による避難場所					

## 1 施設内建物の概況

名 称	本館棟(1棟)1-1	教室棟(3棟)1-3	本館棟(11棟)1-5
築年(西暦)	1974 年	1974 年	1981 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	531.20 m <sup>2</sup>	346.07 m <sup>2</sup>	131.65 m <sup>2</sup>
延床面積	1,530.85 m <sup>2</sup>	632.15 m <sup>2</sup>	368.70 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	第1職員室 理科室 生活訓練室	情報教育室 生活訓練室	事務室 調理教室 音楽室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適    ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適    ※4 傾斜が有る場合は不適    ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	肢体不自由部棟(21棟) 10,11,12	体育館棟(28棟) 16	校舎棟(32棟) 18
築年(西暦)	1996年	2003年	2005年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	887.18 m <sup>2</sup>	829.38 m <sup>2</sup>	873.98 m <sup>2</sup>
延床面積	1,684.96 m <sup>2</sup>	963.80 m <sup>2</sup>	2581.64 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	自立活動室 生活訓練室 食堂	体育館	第2職員室 生活訓練室 会議ボランティア室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟(1棟)1-1	長寿命化改修を行う。
教室棟(3棟)1-3	長寿命化改修を行う。
本館棟(11棟)1-5	長寿命化改修を行う。
肢体不自由部棟(21棟)10,11,12	設備等の定期更新を行う。
体育館棟(28棟)16	予防保全を図る。
校舎棟(32棟)18	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修  
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。  
(1棟、11棟)2018年度施工  
(3棟)2019年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟(1棟)1-1	長寿命化改修		施工 5								
教室棟(3棟)1-3	長寿命化改修			設計・施工 1							
本館棟(11棟)1-5	長寿命化改修		施工 1棟に含								
肢体不自由部棟(21棟)10,11,12	設備等の定期更新			屋上防水・外壁改修 自動火災報知設備 エアコン							
体育館棟(28棟)16	予防保全		予防保全を図る。								
校舎棟(32棟)18	予防保全		予防保全を図る。								

#### 4. 概算費用

・総額 7億円(長寿命化改修 6億円、設備等更新 1億円)